

## 平成20年度まちづくり功労者の功績概要

### 1. ていね夏あかり実行委員会（北海道札幌市）

札幌市手稲区において、大学生が地域の小学生と協働で「ちょうちん」を制作・展示・点灯する「ていね夏あかり」を平成4年度から毎年開催している。平成19年に開催した第16回では、100名を超える大学生と手稲区内の全小学校児童の参加等により、8,266個の「ちょうちん」が灯され、地域の夏の風物詩として定着している。

### 2. 盛岡肴町3番地区再開発ビル建設協議会（岩手県盛岡市）

優良建築物等整備事業を用いて、街並みの活力が低下している地区の敷地の共同化と高度利用を図るため、高齢者に対応した賃貸住宅や有料老人ホーム、各種介護サービスが提供できるよう一体的な整備を行った。また、敷地の一部を市民に開放するなど積極的にコミュニティの形成を図ったことにより、地区の快適性の向上や魅力が高まり居住人口の増加がみられ中心市街地の活性化に大きな貢献をした。

### 3. いわき駅前地区市街地再開発組合（福島県いわき市）

いわき市の長年の懸案事項であった、いわき駅前地区の市街地再開発事業の実施にあたり、権利者の合意形成を図り、商業・業務・公共（図書館や市民サービスセンター）・商工会議所が入居する複合施設を完成させるとともに、賑わい創出等の活性化に向けた各種事業にも積極的に参画し、ハードとソフトの両面に亘り、中心市街地の活性化に寄与した。

### 4. 会津坂下町坂下西第二土地区画整理組合（福島県会津坂下町）

都市計画道路3路線、広域的医療施設、町営住宅を含む住宅区域及び公園緑地区域を一体整備する等、公益性の高い土地区画整理事業を実施した。また、当地区は積雪地帯でもあることから、特に降雪に配慮したまちづくり協定を策定することにより、地権者自らまちづくりに参画する意識を高めながらまちづくりを実施している。

### 5. 龍ヶ崎市（茨城県龍ヶ崎市）

まちを訪れた人たちが楽しく回遊できるように、まちづくり交付金を活用して市の名称にある「龍」と特産である「コロッケ」をモチーフとした案内板を設置し、市の歴史や本町商店街大通りを健康・ご利益街道としてPRすることにより中心市街地の活性化を図っている。

### 6. 茨城県建築士会桜川支部（茨城県桜川市）

平成10年から旧真壁町のまちおこし事業を構想しており、住みやすく美しい情緒豊かなまちを形成するために、地元まちづくり団体や地域住民、学生等と「まちづくりワークショップ」を開催し、ワークショップで企画立案された景観に配慮したまちづくり事業に基づき既存のブロック塀に杉板を張る等の化粧直しを行い、歴史的街並みに調和するよう街並み修景作業を実施した。

## 7. うつのみやばばどお ちゅうおうちくしが いちさいかいほつくみあい とちぎけんうつのみやし 宇都宮馬場通り中央地区市街地再開発組合（栃木県宇都宮市）

既存建築物の老朽化、低度な土地利用等により再開発による整備が待たれていた地区において、市街地再開発事業を実施し、商業・業務・公共公益施設の整備拡充を図るとともに、壁面後退による歩道状空地と拠点広場の土地の提供と整備を行うことにより、魅力ある都市景観の形成と中心市街地の活性化に寄与した。

## 8. やしまちとうみなみちくゆうりうけんちくぶつとうせいびじざうきょうどうせこうしききょうざikai ぐんまけんたかさし 八島町南地区優良建築物等整備事業共同施行者協議会（群馬県高崎市）

優良建築物等整備事業制度の活用により、中心市街地の居住人口の増加という課題に対し、福祉環境、地球環境、都市景観等に十分配慮した、高崎市の今後の都市型住宅の範となる共同住宅を提案し、高崎市の都市のイメージを一層高めた。

## 9. いせさきしせいぶだいにとちくかくせいりくみあい ぐんまけんいせさきし 伊勢崎市西部第二土地区画整理組合（群馬県伊勢崎市）

組合役員・組合員が一体となり土地区画整理事業を推進し、バブル経済崩壊後も組合単独事業を積極的に推し進め、公共施設を計画的に整備し、住環境を整え地区面積 124.6ha の宅地の利用増進を図ることにより、地域を活性化し、魅力あるまちづくりを推進した。

## 10. あんぎょう きょうざikai さいたまけんかわぐちし 安行みどりのまちづくり協議会（埼玉県川口市）

ふるさとの森の保全と整備を進め、自生していた一輪草（埼玉県の準絶滅危惧種）が、保護活動により平成 14 年 3 月には文化財保護法に準じた川口市文化財保護審議会より答申をうけ、川口市の天然記念物に指定された。また、安行ウォークや「一輪草祭」の開催など地域活動を積極的に行い、まちづくりの先導的役割をしている。

## 11. なめがわまちつきのわと ちくかくせいりくみあい さいたまけんなめがわまち 滑川町月輪土地区画整理組合（埼玉県滑川町）

土地区画整理事業の実施により、機能的な住環境を持った快適な市街化の形成を実現した。また、平成 14 年に開設した「つきのわ駅」を中心に住宅の建設が促進され、全国でも上位の人口増加率を示す中、地区内に 8 箇所の公園や住宅間の緑道等を整備し、町の基本構想で将来都市像として掲げられている「人と自然の共生、愛ふるタウン滑川」の方針に沿って、安全で安心な住み良いまちづくりに大きく貢献した。

## 12. くきしよしばと ちくかくせいりくみあい さいたまけんくきし 久喜市吉羽土地区画整理組合（埼玉県久喜市）

公園への樹木の移植を始め、青毛堀沿いを桜並木の散歩道として整備を行い、保留地の公売には民間企業と提携して、全国初の試みによる土地と住宅をセットで売却する共同分譲システムの導入を図るなど、土地区画整理事業の実施により、健全な環境を有する優良住宅地としてのまちづくりを推進した。

13. いちほらしあおやぎと ちくかくせいりくみあい ちばけんいちほらし  
市原市青柳土地区画整理組合（千葉県市原市）

土地区画整理事業の実施により、道路、公園及び下水道などの公共施設を整備し、良好な住環境を有する宅地の整備を行うとともに、地区計画の導入により調和のとれた街並みの形成や生活利便施設の誘導を図るなど、地域の住みよいまちづくりを行った。

14. のしほらこみやと ちくかくせいりくみあい とうきょうと のし  
あきる野市原小宮土地区画整理組合（東京都あきる野市）

生活道路の狭隘問題や宅地と農地が混在していた地域において、土地区画整理事業の実施により、計画的に道路や公園を整理するとともに、緑化の推進や壁面後退などの地区計画制度を取り入れ、安全と機能性を考慮した魅力あるまちづくりを行なった。

15. にほんばしにんぎょうちやういっちやうめ ちくしがい さいかいほつくみあい とうきょうとちゆうおうく  
日本橋人形町一丁目地区市街地再開発組合（東京都中央区）

好立地ながら老朽化した木造建築が密集し駐車場や空きビルが残る、災害に対して不安を抱えた地区において、市街地再開発事業を実施し、大量の定住型住宅を提供、建物の低層部に商業施設・広場を整備するとともに、周辺住民開放のコミュニティルームを設置するなど、安全で安心して暮らせるまちづくりにより、まちの賑わいを創出した。

16. あだちいち に さんちやうめ ちく れんらくかい とうきょうとあだちく  
足立一・二・三丁目地区まちづくり連絡会（東京都足立区）

防災性及び住環境の改善が課題であった住工混在の密集市街地において、地元住民の代表者によりまちづくり連絡会を設立し、狭い道路の拡幅整備や広場・公園の計画づくりに積極的に参画して、地区住民自らまちづくり活動を積極的に行った。

17. ほだのし かながわけんほだのし  
秦野市（神奈川県秦野市）

無秩序な市街地が形成されている中で、地域住民と行政が一体となったまちづくり委員会を設置し、調査・研究を重ね、商業の活性化や安全で快適な市街地を形成するための地区計画を導入した。また、都市計画道路において、災害時の道路確保、景観などを考慮し電線類地中化を行うとともに、緑化空間・防災空間としての機能をもった公園を設置し、地域住民の方々に豊かな緑や憩いの場としてのコミュニティの場を提供した。

18. おおつきし やまなしけんおおつきし  
大月市（山梨県大月市）

大月駅南側の大月駅前通線において、直買方式での街路事業を推進する過程で、地権者の多様な要望に応えるため、平成 10 年度に創設された「沿道整備街路事業」を導入し、換地手法を活用することで、地権者の多様なニーズに対応し、新しい街路事業によるまちづくりを開拓し事業を実現させた。

19. いずもぎつまい まちなみけいけんすいしんきやうかい にいがたけんいずもぎつまい  
出雲崎妻入りの街並景観推進協議会（新潟県出雲崎町）

全国的にも珍しい 3.6km に連なる妻入りの街並み景観の保存を目指すため、町内外へ妻入りの貴重性をアピールしながら観光等を含めた「まち全体の活性化」を最終目標として、まちの緑化活動や、暖簾・表札の製作・設置、街なみマップの制作活動等を継続的に行っており、当地区の景観形成において大きく貢献している。

20. にししげたえきまへとちくかくせいりくみあい にいがけんしげたし  
西新発田駅前土地区画整理組合（新潟県新発田市）

土地区画整理事業の実施にあたり、関係地権者の合意形成及び関係機関との協議・調整を行い、都市計画道路や補助幹線道路、生活道路を機能的に配置・整備し、地区の交通利便性の向上に大きく貢献した。また、優良な住宅地と多彩な商業施設、医療・福祉・教育の施設とを一体的に整備し、「住み、働き、憩い安らぐ」良好な住宅地と商業地の形成及び市街地の適正な誘導に大きく貢献した。

21. そうがわとお みなみちくしがいちさいけいほつくみあい とやまけんとやまし  
総曲輪通り南地区市街地再開発組合（富山県富山市）

富山県の代表的な中心商店街を形成してきた総曲輪通り商店街に接し、集客力の低下や老朽化した低層木造建築物などが密集していることにより、施設の設備更新が求められていた地区において、市街地再開発事業の実施により、大型商業施設を建設することで、地区の防災化及び中心商業地全体の活性化に大きく貢献した。

22. ゆき くだるま くらぶ いしかわけんはくさんし  
雪だるま倶楽部（石川県白山市）

白峰地区のイメージアップを図り、観光客誘致を促進するため、地域の特有資源を活用したイベントの開催をはじめ、伝統的街並みに適応した古民家再生の雪だるまカフェを開設するなど、伝統文化を基調とした山村集落におけるにぎわいの再生を実現し、地域の活性化に貢献した。

23. うちなだまちうちなだほくぶちく とちくかくせいりくみあい いしかわけんうちなだまち  
内灘町内灘北部地区土地区画整理組合（石川県内灘町）

内灘町北部地区において、「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」の地区指定及び「街並み・まちづくり総合支援事業」の事業採択を受け土地区画整理事業を実施し、電線の地中化をはじめ、歩道的美装化・ポケットパーク・物語性のあるテーマを持たせた公園の整備等を行い、個性的で魅力のある街並みをつくり、自然に調和し健康的で人と自然にやさしい住環境の形成に貢献した。

24. のざわしょうてんかい ながのけんさくし  
野沢商店会（長野県佐久市）

空洞化が進む中心市街地を活性化させようと、平成 10 年より「のざわ山門市」を実施し地域住民の交流の場を創造するとともに、全長 38m奥行き 2 m屋根付きの常設販売スペースの設置により、かつての賑わいを取り戻した。また、健康長寿のまち佐久にちなんだ「びんころ地蔵」の建立、びんころグッズの開発・商品化等のユニークな取り組みにより、1 観光シーズンで 2 万人が訪れる新しい観光名所を創造した。

25. なごくまけいかんきょうていうんえいいんかい ながのけんいだし  
名古熊景観協定運営委員会（長野県飯田市）

国道 153 号飯田バイパスの供用開始に合わせ、沿道を中心として小売店舗等の進出による建物、広告物の乱立が予想される中で、地区民に実施した意識調査の結果を踏まえ、景観形成住民協定を締結し、以降この運営委員会を中心に 13 年間、住民の協力の元、協定内容の遵守と、景観形成が図られるよう活動を行っている。

26. <sup>ぎふえきにしちくしがいちさいかいほつくみあい</sup> <sup>ぎふけんぎふし</sup>  
岐阜駅西地区市街地再開発組合（岐阜県岐阜市）

築後 30 年以上経過した老朽低層建物が大半を占め、低未利用の状態にあったため、市街地再開発事業により、駅前という立地特性を活かした都心居住住宅、福祉・医療等施設、放送局及び商業施設が入る複合施設ビルを整備し、定住人口や交流人口の増加による岐阜市中心市街地における賑わいの再生に大きく貢献した。

27. <sup>やすいせいしょうねんいくせいすいしんきとうぎかい</sup> <sup>ぎふけんおおがきし</sup>  
安井青少年育成推進協議会（岐阜県大垣市）

市から違反広告物簡易除却の委任を受け、地域での地域住民による違反広告物簡易除却を行う活動を通じて、良好な景観の維持・形成はもとより、地域の青少年の健全育成のための環境浄化を実施し、良好な都市景観の維持・管理に貢献している。

28. <sup>きくがわちやうなんぶだいにとちくかくせいりくみあい</sup> <sup>しずおかけんきくがわし</sup>  
菊川町南部第二土地区画整理組合（静岡県菊川市）

市の交通の要衝である東名高速道路菊川 IC 周辺の地区において、土地区画整理事業を実施し主要幹線道路を整備することにより、本地域の機能的な都市活動の増進及び近隣市との交流・連携に寄与した。また、道路や公園等の都市基盤の整備により、利便性の高い住宅地が創出され、市街地への宅地供給に貢献するとともに、新たな賑わいを創出した。

29. <sup>ぬまづし</sup> <sup>しずおかけんぬまづし</sup>  
沼津市（静岡県沼津市）

市街地再開発事業の実施により、土地の高度利用を図り中心市街地に新たな回遊拠点を創出し、中心市街地の賑わいの再生や都心居住を推進した。また、駅前広場や都市計画道路などの都市基盤整備により駅周辺の交通環境の改善を図り、中心市街地の活性化に寄与した。

30. <sup>かちがわちくしがいちさいかいほつくみあい</sup> <sup>あいちけんかすがいし</sup>  
勝川地区市街地再開発組合（愛知県春日井市）

市街地再開発事業の実施にあたり、春日井市が策定した総合整備計画の具現化をめざし、土地区画整理事業と連携したまちづくりの推進、建築物整備による都市景観創造など、市の西の玄関づくりに貢献した。また、施設づくりにおいては商業を軸とした新しい生活・交流拠点となる複合施設を整理し、中心市街地活性化に貢献をした。

31. <sup>おわりあきひいんぼとくていとちくかくせいりくみあい</sup> <sup>あいちけんおわりあきひし</sup>  
尾張旭印場特定土地区画整理組合（愛知県尾張旭市）

土地区画整理事業の実施にあたり、建物移転対象が 496 戸と多数に及んだが、仮設住宅を利用した同時移転を採用するなど、建物移転方法の工夫と組合の熱意と努力により概ね 7 年という短期間で建物移転を完成させ、質の高い公共施設の整備と良好な住環境の創造をした。

32. <sup>かすがいほりのうちとくていとちくかくせいりくみあい</sup> <sup>あいちけんかすがいし</sup>  
春日井堀ノ内特定土地区画整理組合（愛知県春日井市）

土地区画整理事業の実施の際、バブル経済崩壊に伴う景気の衰退、地価下落等の影響による組合経営の危機的状況を組合員らの努力により克服するとともに、一団の保留地においては、背割線に 2 m の専用歩道を設け、溢れる陽光と眺望を確保した魅力ある住環境を創出するなど、魅力あるまちづくりに大きく貢献した。

33. きょうたなべし きょうとふきょうたなべし  
京田辺市（京都府京田辺市）

土地区画整理事業により鉄道2線の高架化する限度額立体交差事業の実施、市民や同志社大の学生等と共に検討し提案されたデザインを基にした公共施設整備等により、学研都市を結ぶアクセス拠点の整備を行うとともに、まちづくり交付金の活用や電線類地中化により、学研地区の北の玄関口に相応しい高質な空間を形成した。

34. わかえいわたなきまち くし がいちさいけいはつくみあい おおさかからひがしおおさかし  
若江岩田駅前地区市街地再開発組合（大阪府東大阪市）

連続立体交差事業が進む近鉄奈良線の若江岩田駅前において、市街地再開発事業を実施し、府道や市道の拡幅、駅前広場の整備、商業施設や公益施設を配置した施設棟や医療施設が入る住宅棟の整備などを実施することにより、豊かさ・便利さ・安らぎ・楽しさが感じられる魅力ある拠点づくりに大きく貢献した。

35. あまがさきし ひょうごけんあまがさきし  
尼崎市（兵庫県尼崎市）

阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた築地地区において、土地区画整理事業による都市基盤整備と併行し、住宅地区改良事業による住環境整備を行うことで、地域住民と行政が協働で復興まちづくりを行い、浸水対策等として区内全体を平均 1.5m盛土整地すると同時に、城下町築地の歴史を継承する街並みを創出し「明るく住み良い環境を保ち、災害に強い歴史文化的な魅力あるまち」を実現した。

36. ほたる しゅくろ かい ひょうごけんたかちょう  
蛍の宿路の会（兵庫県多可町）

河川への不法投棄による環境汚染により、蛍の個体数が減少しつつあった多可町八千代区において、本流・野間川の河川清掃及び蛍の放流等を行い、「ホタル鑑賞会」を実施した。現在、「ホタル鑑賞会」は都市圏からも多くの観光客が訪れる多可町の一大イベントとなっており、まちの賑わいを創出している。

37. おつおきだにたなだほぜんくみあい ひょうごけんさようちょう  
乙大木谷棚田保全組合（兵庫県佐用町）

平成 11 年、「日本の棚田百選」に認定されたことを契機に、棚田の維持管理のため「乙大木谷棚田保全組合」を設立。過疎化及び高齢化が進む地域において、棚田の荒廃の進行が懸念される中、「棚田オーナー制度」の採用や、都市部からのボランティアと稲作等を行い、美しい景観を保全し、また都市部住民との交流を深めることにより、地域の活性化に多大なる貢献をしている。

38. かしはらし ならけんかしはらし  
橿原市（奈良県橿原市）

県中南部地域の玄関口である近鉄大和八木駅の駅前でありながら基盤整備が立ち遅れ、中心市街地の沈滞化が懸念される地区において、沿道区画整理型街路事業等により、駅前広場・都市計画道路の街路整備を行い沿道宅地の利用増進を図ったことにより、健全な市街地形成に貢献した。

39. <sup>まつえ</sup>松江まちづくり株式会社（<sup>しまねけんまつえし</sup>島根県松江市）

老舗の数寄屋旅館「蓬萊荘」の再生を行い、景観的にも貴重な建物の保存を行うとともに、食をテーマにした店舗活用により、まちのにぎわい再生に大きな役割を果たした。また、周辺観光施設やイベントとの連携、まち歩きマップの製作と活用により、観光の振興を図るとともに、中心市街地の活性化に大いに寄与した。

40. <sup>ついでまつけいかんほげんたいさくすいしんきょうぎかい</sup>築地松景観保全対策推進協議会（<sup>しまねけんいづもし</sup>島根県出雲市・<sup>ひかわちやう</sup>斐川町）

出雲平野における農村の生活文化に根ざした築地松を保全し、散居集落景観を後世に伝えるため、住民協定や広報活動により意識啓発を図っている。また、築地松の維持管理費の助成制度を設けたり、陰手刈りという専門職人を育成することにより、築地松の公共的価値を見出し、築地松のあるまちづくりを推進している。

41. <sup>ちくぜんしんぐう</sup>筑前新宮に<sup>はくさせいしやう</sup>白砂青松<sup>と</sup>を取り戻す会（<sup>ふくおかけんしんぐうまち</sup>福岡県新宮町）

新宮海岸において、マツクイムシの被害により樹齢約300年の大木が次々に枯死し、自然環境が破壊されていることに対し、地域住民と協力しながら新宮松原及び町内里山の保全育成活動を行い、白砂青松の美しい海岸の再生・保全に大きく貢献した。

42. <sup>くまもとけんじゆうたくきやうきやうこうしゃ</sup>熊本県住宅供給公社（<sup>くまもとけんくまもとし</sup>熊本県熊本市）

土地区画整理事業の実施にあたり、地区計画の導入を前提とした土地利用計画の策定、それに基づく“誰もが安心して快適に暮らすことができるまちづくり”をコンセプトにした、個々の住宅・道路整備でのユニバーサルデザインの配慮・普及活動や公益施設等（郵便局・商業施設等）整備にあたっての利用者意見の反映等、様々な働きかけを行い、地区全体としての魅力あるまちづくりに貢献している。

43. <sup>きはちにしきんひがしちくしがいちさいかいはつくみあい</sup>北8西3東地区市街地再開発組合（<sup>ほっかいどうきつぽろし</sup>北海道札幌市）

市街地再開発事業により、札幌駅に隣接する低未利用地に都市型住宅と業務施設の整備を行い、土地の高度利用と防災性の向上を実現した。また、地下歩道との接続やピロティーの整備による快適な歩行者空間の確保、人々がくつろげる緑豊かな公開的空地を創出し、良好な市街地環境の形成と地域の活性化に大きく貢献した。

44. <sup>さいたまし</sup>さいたま市（<sup>さいたまけん</sup>埼玉県さいたま市）

20数年をかけて、隣接地への代替店舗ビル建設等により、150件余りの地元権利者の円滑な転出等を図り、特定建築者との協力により市街地再開発事業を実施し、商業施設パルコと3層の屋上庭園を併設した中央図書館、市民活動サポートセンター（市民参加型の設計作業の導入）等の公共施設の機能が融合した新たなランドマークを創出した。

45. たかしまにちようめちくしがいちさいかいはつくみあい かながわけんよこはまし  
高島二丁目地区市街地再開発組合（神奈川県横浜市）

横浜駅から徒歩3分の好立地ながら、従前は老朽家屋等が密集し防災上の課題があった地区において、市街地再開発事業により土地の高度利用や防災性が向上するとともに、再開発ビル内に整備したペDESTリアンデッキにより、横浜駅東口とみなとみらい 21 地区間の歩行者の利便性が大きく向上し、都心部の歩行者空間のネットワーク形成に大きく寄与した。

46. つるがみおえきみなみぐちちくしがいちさいかいはつくみあい かながわけんよこはまし  
鶴ヶ峰駅南口地区市街地再開発組合（神奈川県横浜市）

市街地再開発事業により周辺道路等を整備し、地区の課題であった住環境や防災性の向上を図るとともに、駅前地区にふさわしい土地の高度利用とバリアフリー化を進め、安全で快適な都市空間を創出した。また、施設建築物に商業施設、住宅、公益施設（保育所、市民活動支援センター）を整備し、地域住民の生活・交流拠点の形成に寄与した。

47. ほんごうだいじちかい かながわけんよこはまし  
本郷台自治会（神奈川県横浜市）

約63ha、約1,600世帯の大規模な自治会のエリアで、従前の建築協定で維持してきた良好な住環境を次世代に継承するため、まちづくりガイドラインを策定し、自ら運用している。また、低層戸建住宅地でありながら、住居地域を含むという複雑な用途地域に合わせ、地区の特性に合ったルールをきめ細かく定め、きめ細かい広報活動や分かりやすい意向調査を継続的に行い、約2年半という短い期間で地区内地権者間の合意形成を図り、地区計画の策定を行った。

48. めいりんじちれんごうかい きょうとしなかがきょうく  
明倫自治連合会（京都市中京区）

京都の都心部に位置する元小学校区という、大きなコミュニティの単位で、「祇園祭を受け継ぐ風格のあるまち、商いと暮らしが響き合うまち」を目標に掲げた地区計画を取りまとめた。この目標の実現にあたって、祇園祭のまちにふさわしい美しいまちなみ形成に向けた検討、地域文化を伝える取組など、継続的な活動により魅力あるまちづくりの推進に貢献した。

49. ひらのごうほーぶ きょうぎかい おおさかからおおさかし  
平野郷HOPEゾーン協議会（大阪府大阪市）

ワークショップや勉強会の開催により、住民の意見を十分に取り入れながらまちなみ整備やまちづくりに関する広報、啓発活動を活発に行っており、平成18年度には、住民の意見を集約し、建築物の高さ制限等を定める「平野郷地区地区計画」の要望を行った。これにより都市計画決定、条例化され景観の保全に貢献した。

50. ちとせちくれんごう きょうぎかい ひょうごけんこうべし  
千歳地区連合まちづくり協議会（兵庫県神戸市）

阪神・淡路大震災からの復興にあたり、千歳地区内の6箇所のまちづくり協議会を包括する組織として設立し、全員の総意を反映したまちづくり構想を策定するために学習会等を重ね、地区全体にかかる「まちづくり提案」をまとめた。まちづくり提案を尊重し、整備された公園、道路等の拠点施設完成後は、地域コミュニティ再生の活動に取り組み、復興事業の推進に寄与した。



51. <sup>うおぎまごう</sup>魚崎郷まちなみ<sup>いじんかい</sup>委員会（<sup>ひょうごけんこうべし</sup>兵庫県神戸市）

阪神・淡路大震災により崩壊した伝統的で個性あるまちなみを復興、発展させるため、地域のまちの将来像や建築物の形態制限などのルールを定めた「魚崎郷地区・景観形成市民協定」を締結し、また、街なみ環境整備事業も活用しながら魅力ある酒蔵のまちづくりの推進に努めた。その際、当委員会が主体となり、行政と連携し活動した結果、酒蔵らしいまちなみの景観形成に大きく貢献をした。

52. <sup>どうじょうは た ち くれんごう</sup>道場八多地区<sup>きょうぎかい</sup>連合まちづくり協議会（<sup>ひょうごけんこうべし</sup>兵庫県神戸市）

当地区を横断する高規格高速道路の開通による地域分断や環境悪化への対策、近接する開発団地の玄関口としての整備等のため、地区全体にかかる「まちづくり構想」をまとめた。また、ゆとりと活力のある環境共生都市の実現のため、まちづくり協定を締結し、建築物の新築等について指導をおこなう等の活動により事業の推進に大きく貢献した。

53. <sup>みなみ かぜ まち え ぼ つく かい</sup>南の風の街EBAを創る会（<sup>ひろしまけんひろしまし</sup>広島県広島市）

約 60 の地域団体等が参加し、地域特産のカキや伝統の盆踊りなどを生かしたまつりを平成5年から 16 年間継続して実施している。地域の冬の風物詩として定着しており、人と人とのふれあいの輪を深め、住み良い、明るい、楽しい地域づくりを推進するとともに、地域の活性化に貢献している。

54. <sup>だんばら ち く</sup>段原地区<sup>きょうぎかい</sup>まちづくり協議会・<sup>なんこうがわかつぱ</sup>猿猴川河童まつり<sup>じつこういじんかい</sup>実行委員会（<sup>ひろしまけんひろしまし</sup>広島県広島市）

地域のつながりが希薄になる中、イベントを通してコミュニティの再構築を図るとともに、水辺のまつりの一環として河川浄化キャンペーン、護岸の清掃活動等を実施し、自然環境保護啓発にも大きく貢献している。また、当活動が単に地域にとどまらず、留学生を招いての国際交流、神楽を通じての地域間交流へとつながっている。